



伊高 ラストラン 最後の校内マラソン大会開催す



令和7年2月7日(金)、「校外でするのは校内マラソン」とツツコミ続けられていた伊高伝統の『校内マラソン大会』も長きにわたる歴史に幕が閉じられました。その最後、ラストランを飾ったのは48&49回生でした。大寒波到来のホンマに寒い、でも雲一つない朝です。そんな中、8時前から準備に追われる生徒達がいま(ありがと)。

8時半、各クラス男女別2列ずつで整列完了のハズでしたが、欠席者も多く7分押しとなりました。最初に柴崎先生から、「最後の行事、良くなるの

男子3周・女子2周です!

も悪くなるのも君達次第です!」と、分りやすい注意がなされました。

ラジオ体操第一が終わると、女子の出走です。出走前、写真屋さんのカメラの前でこやかにポーズをとる人達が居ます。これから始まる『耐久』に備えて気持ちを落ち着かせているのかな?それでは時間に合わせ、9時にスタートです。

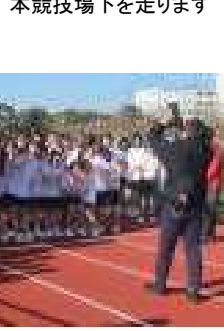


一気に走り出しました。トップの『マジ優勝狙い層』と、中間の『できる層』と、後ろの『頑張ろう層』、そして最後に『のりくらりの層』が走ります。

天高く両手を広げ

女子は2周走ります。最後の最後、補助競技場で2位だったMさんが勝負に出ました。マジの全力疾走です。しかし、トップに気付けられ、ギリギリ交わされてしまいました(残念)。

女子が走り終えると、今度は男子です。男子は3周、ちょっと多いです。寒さも厳しいので、準備ができたら予定時間を待たずにスタートです。9時48分、



「3組男子頑張れ!」女子の声援の中、走ります。

「フアイトー」

声をかけると両手を挙げ、「うおっ」と、階段を駆け上がるロッキーの様でした。また、徐々に差が開くと、すれ違いつまに互いにガッツポーズで鼓舞していました。

重低音の迫力ある走りが見られます。きつと皆の頭の中は、爆風スランプの『ランナー』が響いていることでしょう。

走ろう走る

俺たち一

マジ、困ったモノです。10時42分、最後の走者がゴールして、競技終了です。その後、皆が補助競技場に集まり、座つたままで閉会式が行われました。学校長講話では、「一生懸命走っているのが一番良かった。普段の学校生活でも、この姿を見せてほしい。」という話で締めくくられました。そして、最後の最後に伝達事項、「見学者は2月13日までレポートです。」

トロトロと歩く運動部員がいます。困ったな、あと少しでゴールです。「早く走ってゴールしてしまえっ!」

と、言う。

「あと1周ありますっ!」

えっっ

今の教科書捨てないでね!

今持っている教科書、「もう使わないからいいや〜」って捨てちゃだめだよ。3年生でも継続使用の科目もあるし、科目名からは分からないかもしれないけど、「1年or2年の教科書見て解いてきてな〜」っていう科目もあるから...

(例えば『実用数学1』など)だから、

絶対捨てずに置いとくや!

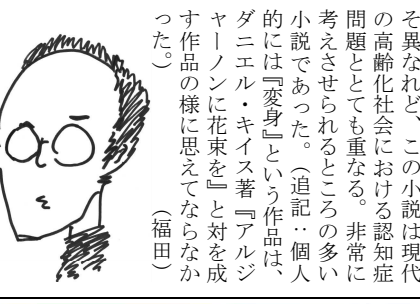


伊川谷高等学校
未来が描ける学校を目指す!

ラストランチ盛り上がりってます

本誌にも様々なネタを提供してくれた『令和6年度ランチャタイム』が2月18日(火)に終了しました。次のランチャタイムは新年度となる4月9日です。もちろんクラスも変わってしまいます。とはいえ、ランチャタイムはクラスの壁なんてありません。因みに食堂も同日スタートとなります。新入生が来ない分、食堂の売り上げも上がらなくなるので皆さんご協力を! (食堂のランチは校舎内に持ち込まない様よろしく)

令和6年度ランチャタイム 終了!



天性人語48th

東野圭吾さんの小説に『変身』という作品がある。脳の損傷により他人の脳の一部を移植され、次第に自分の人格が失われていく主人公の恐怖と葛藤が描かれている。▼映画やドラマ、小説には必ず隠されたテーマがある。私は『変身』という小説のテーマを、認知症などに代表される『人格の喪失』だと感じた。▼身近な人の人格に変化が現れる、この事に周りの人は戸惑うだろう。例えば原因がわかっていなくても、それを受け入れる事は決して容易な事ではない。▼では、当の本人は一体どういう気持ちなのだろう。先にも述べた『恐怖と葛藤』これが一番近い心境を捉えていると思う。自分が自分でなくなる恐怖、大切な人を傷つけてしまう葛藤、それとどう向かい合っていくのか、そして、その時の周りの対応は。▼理屈や道徳心だけでは計りきれないものがそこには存在する。実際に『変身』の主人公が取った行動とは。小説とドラマで結末は若干異なるが、いずれにせよ、主人公は人としての『尊厳』を守った事には違いないから。人として生きる上で、最も大切なものを。▼状況こそ異なるけれど、この小説は現代の高齢化社会における認知症問題ととても重なる。非常に考えさせられるところの多い小説であった。(追記:個人的には『変身』という作品は、ダニエル・キイス著『アルジャーノンに花束を』と対を成す作品の様に思えてならなかった。)

(福田)

兵庫県立伊川谷高等学校 校歌(2番)

作詞 黒部 亨
作曲 岡村 健治

豊かなる
天地の恵み 身に享けて
いにしえ人の住みし里
友情は ゆるぎなく
協同のこころ 培うところ
たのしき母校 伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢

校訓
自主 協同



R6年度 伊川谷高校 校内マラソン大会

令和7年2月7日(金)

Last Run!

友の願いを『力』に変えて...

学年通信

第25学年週刊情報誌

48回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生
発行所 〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www.2hrgo-cad.jp/weblog2/kawadani-hs/

紙面から

5 4 3 2 1

最後のマラソン開催す
6年度ランチャタイム終了
今の教科書捨てないでね
君は誰を採用するのか?
48回生修学旅行記

天性人語48th

東野圭吾さんの小説に『変身』という作品がある。脳の損傷により他人の脳の一部を移植され、次第に自分の人格が失われていく主人公の恐怖と葛藤が描かれている。▼映画やドラマ、小説には必ず隠されたテーマがある。私は『変身』という小説のテーマを、認知症などに代表される『人格の喪失』だと感じた。▼身近な人の人格に変化が現れる、この事に周りの人は戸惑うだろう。例えば原因がわかっていなくても、それを受け入れる事は決して容易な事ではない。▼では、当の本人は一体どういう気持ちなのだろう。先にも述べた『恐怖と葛藤』これが一番近い心境を捉えていると思う。自分が自分でなくなる恐怖、大切な人を傷つけてしまう葛藤、それとどう向かい合っていくのか、そして、その時の周りの対応は。▼理屈や道徳心だけでは計りきれないものがそこには存在する。実際に『変身』の主人公が取った行動とは。小説とドラマで結末は若干異なるが、いずれにせよ、主人公は人としての『尊厳』を守った事には違いないから。人として生きる上で、最も大切なものを。▼状況こそ異なるけれど、この小説は現代の高齢化社会における認知症問題ととても重なる。非常に考えさせられるところの多い小説であった。(追記:個人的には『変身』という作品は、ダニエル・キイス著『アルジャーノンに花束を』と対を成す作品の様に思えてならなかった。)

(福田)

読者のページ

School Teacher @ Voice

君は誰を採用するのか?

高校生人事部体験

2月12日(水)のLHRは一大企画『人事部体験』を行いました。各クラスに企業の方が講師として入り、生徒は4〜5名で班を組み、この班が会社の『人事部』となり与えられた5名の応募者から3名の採用者を決めていくのです。

「公務員は奉仕、会社員はお金儲けが必要です。その辺も考えて。」

ポイントを覚えてもらい、まずは班員(今は人事部長)が応募票を一枚一枚見て、検討していきます。

「まだ評定は、こつちの方が高いし。」

「とりあえずワタナベ君は採用という事で、他は…」

各自が採用・不採用を考えた後で、今度は班(人事部)内で話し合います。

「草木花子さんがいいと思った理由は、他の人より評定が高く、遅刻欠席も少ないから。」

「特技があるから。」



さて、誰を採用しよう…



この人はどうですか?

「不採用の理由は、遅刻欠席が多いから…」

いつも先生達に言われている事を自ら口にしていきます。(分かってるなら普段から実行しろよ、と思います。)

講師の先生から最後のまとめがありました。

「評定平均、今後大事になってきますよ。遅刻欠席、これからでも減らしてください。」

どうですか? 逆の立場になったら、どんな人を採用したいか、どんな人と一緒に働きたいかがよく見えてきますよね。マジで心に留めておいてください。

【広告】

伊川谷高校

友との楽しい時間を!



修学旅行三日目、この日もグレンデツァイター、スキー実習閉校式&ナイタースキーと予定は盛りだくさんです。クレセントホール(食事会場)に向かう前、連絡ボードで一日の確認をしていきます。

「これからの行動を確認中」



生徒全員が一堂に会する朝食時間を狙って、学年主任の頼み事がありました。内容は、インストラクターの方々に強く要請のあった『スマホをグレンデに持ち込まない』です。

「昨日は皆、震災の黙祷に協力してくれた。皆は真剣に頼んだ事は真

1年めわれ

▼調査兵団団長 入試休みもあり、今回の学年末調査前は4連休がありました。調査前日S君に、「4連休あったら、しっかりテスト勉強できたやろ?」

と問うと返答が、「何の成果も得られませんでしたー!」(笑)

面白ヤン(笑)

※【用語解説】何の成果も得られませんでした

進撃の巨人1話(漫画・アニメ共に)にて、巨人を前に圧倒的な敗北を期した調査兵団団長が、死した団員の母親に発した言葉。この団長は作中で後に重要な役割を果たす。

▼パレンタイン 地球の周囲をドーナツ状に取り

巻く陽子と電子からなる放射線帯…って、それは『パレンタイン』です。よく似てるけどパレンタインは全くの別物です。2月14日が自宅学習日なので、前日の2月13日、お昼の時間に『甘い時間』が始まりました。T君が手にしているのはU君が周りに配ったお手製の菓子です。皆、器用だなあ。

食後のお茶菓子です



▼教科書の偉人 昭和も平成も令和も、なぜ教科書の偉人はイタズラされちゃうのだろう…。ベク

トルの偉人ギブズも女子高生の手にかかれればギヤルに変わってしまった(泣)。

偉人なんですけど…



▼発掘作業 廊下のロッカー前で四つん這いになり『発掘作業』をしているY君、一体何をお探しかな? 周辺に散らばるプリントの状態から、ヨッカイ内の様子が容易に推

察できました。整理整頓の道は険しそうです。

発掘作業してます



▼最後の見直し 試験前の最後の見直しはとて大切です。でも予鈴前着席は守って下さいね。

廊下は見直し者ばかり



感謝

あふれんばかりの感謝の気持ちで日々過ごすことができればいいね
ありがとう ごめんなさい
おはよう さようなら
どれも幸せをよぶ、魔法の言葉…

剣にぶられてくる。スマホのグレンデ持ち込みはインストラクターの責任問題になってしまふ。頼む、スマホは置いていってくれ!

願いが通じたか、前日の『グレンデスマホの嵐』はこの日は見られませんでした。

スキーツアーに行かない見学者の人達は、先生と一緒に雪遊びをしました。雪上に座って雪でペタバタ…、海岸の砂浜でよく見る光景を雪山で再現でした(笑)。

やはり雪だるまかな?



スキーツアー組がゴンドラで向かったのは、めちゃくちゃ美しい山『インゾラ』です。天気は快晴、頭の中は松任谷由実さんの『プリザード』がかかっています。そんなグッドなグレンデを、インストドラクターさんを先頭に『カルガモ一家』のように滑り降りて来るスキーの人達を発見しました。ちょっと可愛かったです(笑)。

カルガモ一家登場



おや? こつちではボードで滑る人達が…
だから好きだと言って天使になって一瞬グレンデなのにも関わらず、S.A.Sの『波乗りジョニー』が聞こえてきました。



イカ高波乗りジョニー

インゾラにあるカフェテリアで毎日に昼食です。値は張りますが、今の価格高騰を考えたら、まだマシな価格です。カレーにラーメン、皆好きなものを頼んでいます。

「うんめえ!」の表情



ツアー再開後、インゾラ山頂で記念撮影です。ここまで来る写真屋さんも大変、でもそのお陰でみんなの楽しい姿が記録に残りました。感謝感謝!

ザ山頂征服



下山までの時間もあちこちでイカ高生の様子を見ることができました。こちらでは、スノボ軍団が皆で座ってハイチーズ! 14時半グレンデツアー終了、閉校式では副団長(本誌編集長)の挨拶、生徒代表T君の挨拶の後、インストラクターの方からの話がありました。



スノボ軍団ポーズつけ

「開校式のザワザワした様子から、怪我がない様に私たちが十分気を付けていました。実習時は私たちが大丈夫なコースに誘導していましたが、ナイターではそれがなかったので十分に気を付けてください。」

これは皆さんのグレンデでの『傍若無人な行動』に対する強き注意が含まれていました。『日頃の行動がここでも出た!』と感じた学年団、皆が頭の中でインストラクターの方々に何度も『ゴメンナサイ』をしました。

閉校式でのT君の挨拶

ホテルに戻ってから、夕食までに部屋の整理…といいながら、お土産を買って出たりメリーゴラウンドで遊んだり、皆楽しむ事に励んでました。

楽しいひとときです



ホテルに戻ってからは、夕食までに部屋の整理…といいながら、お土産を買って出たりメリーゴラウンドで遊んだり、皆楽しむ事に励んでました。

楽しいひとときです

ナイタースキーでは、グレンデはイカ高生で占領された。篠山速足の再現です。でもグレンデは広いので、48回生が一斉に出ても、グレンデが埋め尽くされる事はありませんでした。

夜のグレンデを滑ると、人の魅力は3倍になります。滑走はスキー班の縛りもなく、誰と滑っても自由です。ここで新たなカッパルは誕生したかな?

ナイターのリフトは寒い



暖色のライトに照らされたグレンデでは、盛大にコケても格好良く見えてしまいます(笑)。

格好良いコケ方です



19時30分、ナイタースキー終了です。しっかりと滑りを堪能したイカ高生がホテルに戻ってきまして。遭難者まで帰りの準備を…してないだらうなあ(苦笑)。

※おことわり

学年通信74号の本連載内にて、スキー実習の様子を別特集で行う旨の記載がありました。今号の連載記事にまとめました。